



ちがさき都市づくり通信

ちがさき都市マスタープランの改定
ポイントを整理しました

2018.5.1.

第3号

■発行 茅ヶ崎市 都市政策課 〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号
TEL: 0467-82-1111(内線2342) FAX: 0467-57-8377
E-mail: toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

◆市民参加の実施、その後・・・

- 前回の「ちがさき都市づくり通信」では、みなさん（生活者）の目線で「茅ヶ崎らしさ」を捉え直すため、その要素を抽出する目的で実施した市民参加の結果をご報告いたしました。
- その後、茅ヶ崎らしさ（価値・魅力）とは何か、また、茅ヶ崎らしさを高めるためにはどのように都市づくりを進めていけば良いのかを検討してきました。
- 今回の「ちがさき都市づくり通信」では、その検討結果とともに、都市マスタープランの全体構想の構成について、検討状況を紹介します。

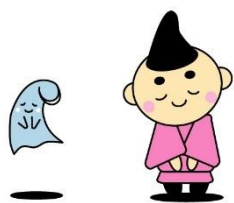
第3号の内容

- ◆市民参加の実施、その後…………… 1ページ
- ◆茅ヶ崎らしさとは？ 茅ヶ崎らしさを高めるためには？ …… 1ページ
- ◆茅ヶ崎らしさを高める上で意識すべき3つの視点…………… 2,3ページ
- ◆ちがさき都市マスタープランの全体構想…………… 4ページ

◆茅ヶ崎らしさとは？

茅ヶ崎らしさを高めるためには？

- 茅ヶ崎の価値、良さ、「『茅ヶ崎らしさ（価値・魅力）』とは何かについて、市内外にアンケートや直近5年以内に市内に転入された方を対象にヒアリング等を行い、たくさんの市民にお聞きしました。
- そして、市民が魅力と感じる3つの特性、要素が見えてきました。
 - ①近くにお店や里山等があり、まちがコンパクト
 - ②里山公園や海等の楽しくリラックスして過ごせる空間がある
 - ③徒歩や自転車等での移動が楽しい
- これらを高めていくことが「茅ヶ崎らしさ」を高める都市づくりになります。



引き続き、都市マスタープランの改定に向け、骨子案を作成していきます。

茅ヶ崎らしさ(価値・魅力)とは？

※市民参加より
(市民討議会、アンケート・ヒアリング結果など)

- ①まちがコンパクト（近くにお店、里山、海等がある）
- ②里山公園や海等、楽しくリラックスして過ごせる空間がある
- ③徒歩・自転車等での移動が楽しい

茅ヶ崎らしさ(価値・魅力)を高めるには？

- ①機能が近接している環境を強化
- ②楽しく、リラックスして過ごせる空間をつくる・ふやす
- ③街なかの移動も楽しめる

◆茅ヶ崎らしさを高める上で意識すべき 3 つの視点

- 茅ヶ崎市では、今後も引き続き、「安全・安心」「快適」「便利」の視点で、都市基盤の質の向上に向けた取組を推進していかなければなりません。また、人口減少や超高齢社会の到来に伴い、空き家や未利用地の増加、農産物の生産の場としての役割の他、多面的な機能を持つ農地の減少も予想され、新たな対応が必要となります。
- さらに、昼間人口の増加、高齢者の外出機会の低下、価値観・ライフスタイルの変化、多様化等を踏まえ、今後の都市づくりを行う上で、子どもを生み育てやすく子育て層が住みやすい、またすべての市民が健康で、生きがいをもって生活できるよう「多世代」の「交流」と「つながり」の創出が重要となってくると考えられます。
- そこで、都市に必要となる機能（子育て・教育環境、買物環境、移動環境等）の見直しや再構築を含め「都市基盤の質の向上や産業基盤の強化」を継続して推進していくとともに、新たな対応の他、「多世代」の「交流」と「つながり」を創出する仕掛けとして、地域ごとの特性を踏まえた、まちなかで過ごせるような居場所を多くつくります。そして、子どもや親、お年寄りをはじめ様々な人が外出し、思い思いの時間を過ごすことにより、新たな発見や出会いが生まれ、まちの賑わい、地域経済の活力向上につながることで、「茅ヶ崎での暮らしの質の向上」を図ります。

①都市機能が近接している環境を強化すること

本市は、海岸や里山、お洒落な商店等魅力的なものが、コンパクトなまちに詰め込まれています。この特徴を活かし、核となる拠点には市民が必要とする機能を集約し、徒歩・自転車や公共交通で行けるようにします。

さらに、今後増加が予測されるオープンスペース等においては、住宅を建築して人口を増やすだけでなく、人が行きたくなる通りや広場、都市拠点とします。

- － 集約型の都市構造を引き続き維持するとともに、駅周辺等の拠点の機能強化を図る。
- － 住宅地においても、自然、公共施設、商業施設等が近接した環境を形成する。



駅前の公園と一体的に整備された公共施設

②楽しく、リラックスして過ごせる空間をつくること

本市は、海岸や里山、お洒落な商店等魅力的なものがたくさんあり、そこでの過ごし方も魅力の一つであり、重要です。そのため、更に、誰もが楽しく、リラックスして過ごせるように意識して、空間整備することが重要です。

- － ユニバーサルデザインに配慮することを前提に、学習や交流等人々の営みを考えながら、楽しく、リラックスして過ごせる屋外の空間づくり（公園、道路、施設等）を進める。また、空き地や公共空間等の有効に活用し、人々が様々な活動ができる空間を創出する。



住宅地の中にある小さな公共的空間



自由に過ごせる大きな公共空間

③街なかの移動も楽しめること

本市は、徒歩や自転車で移動しやすい平坦な地形特性があります。この特性を活かし、目的地へ行くまでの移動環境においても、ただ安全に移動するだけでなく、快適に楽しく感じられるように意識して、移動環境整備することが重要です。

- － 徒歩や自転車で安全に移動ができるように、歩行空間や自転車走行環境等を整えていくとともに、民有地や通り等に四季の移ろいを感じる花や木、魅力的なサインやストリートファニチャー等を配し、移動を楽しむ。



移動が楽しくなる街路樹やサイン

◆ちがさき都市マスタープランの全体構想

- ちがさき都市マスタープラン全体構想について、その構成を以下に示します。
- 従来の都市づくりに「茅ヶ崎らしさ（価値・魅力）」を高める都市づくりを追加で行い、将来都市像である「**多世代が共生できる住みたい、住み続けたいまち**」～みんなで育む やすらぎとにぎわいのある快適環境都市～をめざします。
- 将来都市像を実現するために、「基本理念」のもと、3つの「都市づくりの目標」を掲げ、それらを達成するために、6つの分野毎に、目指す方向、取り組む方針を示します。

将来都市像

「多世代が共生できる住みたい、住み続けたいまち」
～みんなで育む やすらぎとにぎわいのある快適環境都市～

基本理念

- ユニバーサルデザインに配慮し、市民生活の「安全性」「快適性」「利便性」を支えるとともに、地域や経済の活力の創出と、人々の支え合いの基盤の構築を推進
- 環境に配慮するとともに、みどりを様々な機能を持つ「グリーンインフラストラクチャー」と捉えて活用
- 「『茅ヶ崎らしさ』を高める事項」を市民・事業者・行政が共有して、まちを育むことで**多世代が共生できる都市**をめざす

都市づくりの目標1 多様な個性と自然と文化が共生する都市づくり

都市づくりの目標2 地域や経済の活力が「茅ヶ崎」の魅力を育む都市づくり

都市づくりの目標3 安全・安心、快適、便利な市民生活が実現できる都市づくり

分野別の取り組み方針

土地利用

多様なライフスタイルを支えるまち

交通体系整備

楽しく快適に移動できるまち

自然・緑地整備

人と生きものが共存するみどりのネットワーク

都市景観形成

軽やかな気持ちで過ごせる空間をつくる

住環境整備

心地よく・住みよいまち

都市防災

強さとしなやかさを備えた安全・安心なまち

《次回予告》

今回は、平成 30 年 5 月から 7 月にかけて実施する、13 地区における「地域意見交換会」及び「市民のみなさまとの意見交換会」の結果についてご報告いたします。

発行：茅ヶ崎市 都市政策課

〒253-8686

神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 1 番 1 号

TEL：0467-82-1111(内線 2342)

FAX：0467-57-8377

E-mail：toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

